

## 授業カブラッシュアップ®研修会Ⅱ・Ⅲ



学習指導要領の趣旨や、学習到達度状況調査(CRT)の結果を踏まえ、授業における言語活動の充実に視点を置いた学習活動や学習評価の在り方等を改善するための提案授業・講義・演習を実施しました。

今回は、5つの研修会のうち小学校社会科と中学校美術科の研修会の様子を紹介します。

### 小学校 社会科

問題解決力を身に付け、社会的現象を広い視野から考えることができる児童生徒の育成

#### (1)提案授業

「平和で豊かな暮らしをめざして」6年

授業者：奥州市立水沢南小学校 教諭 齋藤 英明

助言者：奥州市教育委員会 指導主事 菊池 勉

#### ★思考・判断を大切にしたい授業展開の在り方

- ・東京オリンピック(1964年)当時の東京の様子を写真で提示し、「なぜオリンピックを開くことができたのか」を学習問題として予想を立てさせました。
- ・終戦直後の日本に必要なことは何かをヒントに、国際社会への復帰や、国内の復興・発展が進んだことを構造的な板書を活用しながら考えさせました。

#### ★知識・技能を定着させるための工夫

- ・単元の構造図を作成し、身に付けさせるべき基礎的・基本的事項(平和条約、経済発展等)を明確にするとともに、調べる視点を与えることで読み取る技能を高めました。



#### ★資料を活用した学習内容・方法の工夫

- ・オリンピックを開くことができた理由を、国外との関係・国内の変化に整理して考え、根拠となる資料を活用しながら表現させました。

#### (2)講義・演習

「学習問題や資料活用の基本的な在り方について」

講師：奥州市教育委員会 指導主事 菊池 勉

- ・講義と演習を通して、資料を活用した学習問題の設定や導入のあり方、そして思考力・判断力・表現力の育成で大切にしたいことを確認しました。

#### (3)講評

講師：岩手県教育委員会事務局学校教育室  
主任指導主事 飯岡 竜太郎

- ・社会科の役割や学習問題の設定の仕方について確認するとともに、学習定着度状況調査のテスト問題から社会科授業で身に付けさせたい力について確認しました。

### 中学校 美術科

中学校美術科における豊かな発想力と表現力を高めるための鑑賞指導の在り方

— 互いに関わり合って作品を味わう活動を通して —

#### (1)提案授業

「二つの伊藤若冲作品を比べて鑑賞し、題名を考えよう」

授業者：奥州市立江刺第一中学校 教諭 嵯峨 靖勝

助言者：県南教育事務所 指導主事 菊池 靖

#### ★ねらいにせまる指導過程の工夫

- ・身に付けさせたい基礎的・基本的内容を明確にして、作品の美しさや面白さを感じ取ろうとしたり、他者との違いを理解して自分の思いを深めたりすることをねらった指導過程(説明→理解の確認→理解の進化→自己評価活動)を工夫しました。

#### ★生徒一人一人に「思い」をもたせる表現活動の工夫

- ・新しい発見や気付きをもたせるために「初発の感想を交流→小グループでの交流→全体で抽出した視点に基づく鑑賞」の流れで表現活動に取り組みました。
- ・見る対象から何かを感じ取り、感じ取ったことや考えたことを言葉で表現することにより、対象への思いを深めることができました。

#### ★互いのよさを認め合う活動の工夫

- ・学習シートを活用して、自分と他者との気付きや感想の違いを理解し、意見交換を進めることで自分の思いを深めることができました。

#### (2)講義

「美術科指導のポイントについて」

講師：県南教育事務所 指導主事 菊池 靖

- ・下記の3点について、講義をとおして確認しました。

- (1) 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てること。
- (2) 感性を豊かにし美術の基礎的な能力を伸ばし美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことが求められていること。
- (3) 鑑賞は、単に知識や作品の定まった価値を学ぶだけの学習でなく、様々な視点で思いを巡らせ、自分の中に新しい価値をつくりだす活動が大切であること。

